

令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・前年度各学年で低かった「我が国の言語文化に関する事項」は目標値を上回ることができた。
- ・どれも目標値を超えており、さらに力をつけるような授業が求められる。
- ・

(2) 課題

- ・1年、3年は話すこと聞くことの指導強化
- ・2年、3年は主体的に学習に取り組む態度の強化
- ・2年は知識・技能について補充を行う。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値+8.1 全国平均+6.4		
第2学年	前年度との比較-1.6 目標値+4.4	全ての領域において目標値を上回っている。 (第1学年時)	
第3学年	全ての領域において目標値を上回っている。	全ての領域において目標値を上回っている。 (第2学年時)	全ての領域において目標値を上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値+5.9ポイント。 全国平均+5.5ポイント。	目標値+11.3ポイント。 全国平均+8.0ポイント。	目標値+10.5ポイント。 全国平均+10.2ポイント。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値+1.8ポイント。 目標値・区平均を上回るが、 全国平均と等しい。	目標値+6.9ポイント。 目標値・区平均・全国平均を 上回る。	目標値-0.7ポイント。 区平均・全国平均を上回る が、目標値を下回る。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値・区平均・全国平均を 上回る。	目標値・区平均・全国平均を 上回る。	目標値・前年度・全国平均を 上回る。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を大きく上回ったが、他の観点に比べると上がり幅が緩い。漢字の書き取りについては顕著に点数が低かった。そのため毎週の漢字書き取りテストを今後も継続して行う。	目標値を大きく上回ったが、文章を読んで考えを広げたり、その文章が読み手にどのような効果を与えるかなどを考えたり、活用能力を伸ばせるように自身の考えをもてる場を多く設定する。	目標値を大きく上回ったが、「意図に応じて、話の内容を捉え、適切な質問をしている。」など、「話す」場面でのスキルアップができるよう話し合い活動をより多く設定する。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
引き続き基礎基本の定着を目指し、定期的な小テストを行う。言葉の特徴や使い方に関する事項の項目が他よりも低かったため、時間をかけ授業を行う	文章を読み、自分の考えをまとめる取り組みを増やす。	ペア、グループワークなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような問いを準備する。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
引き続き基礎基本の定着を図り小テストを行う。また歴史的仮名遣い等の古典文法事項の復習も行う。	読み取った内容を明確に書いたり、文章の全体と部分の関係を捉えさせたり既習事項の徹底を行う。	引き続き粘り強く学習し、自己学習調整能力を伸ばせるよう適切な課題設定を行う。